

環境省「令和2年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環 システム構築実証事業」

使用済みプラスチック製品のリサイクルバリューチェーン構築

2021年8月26日

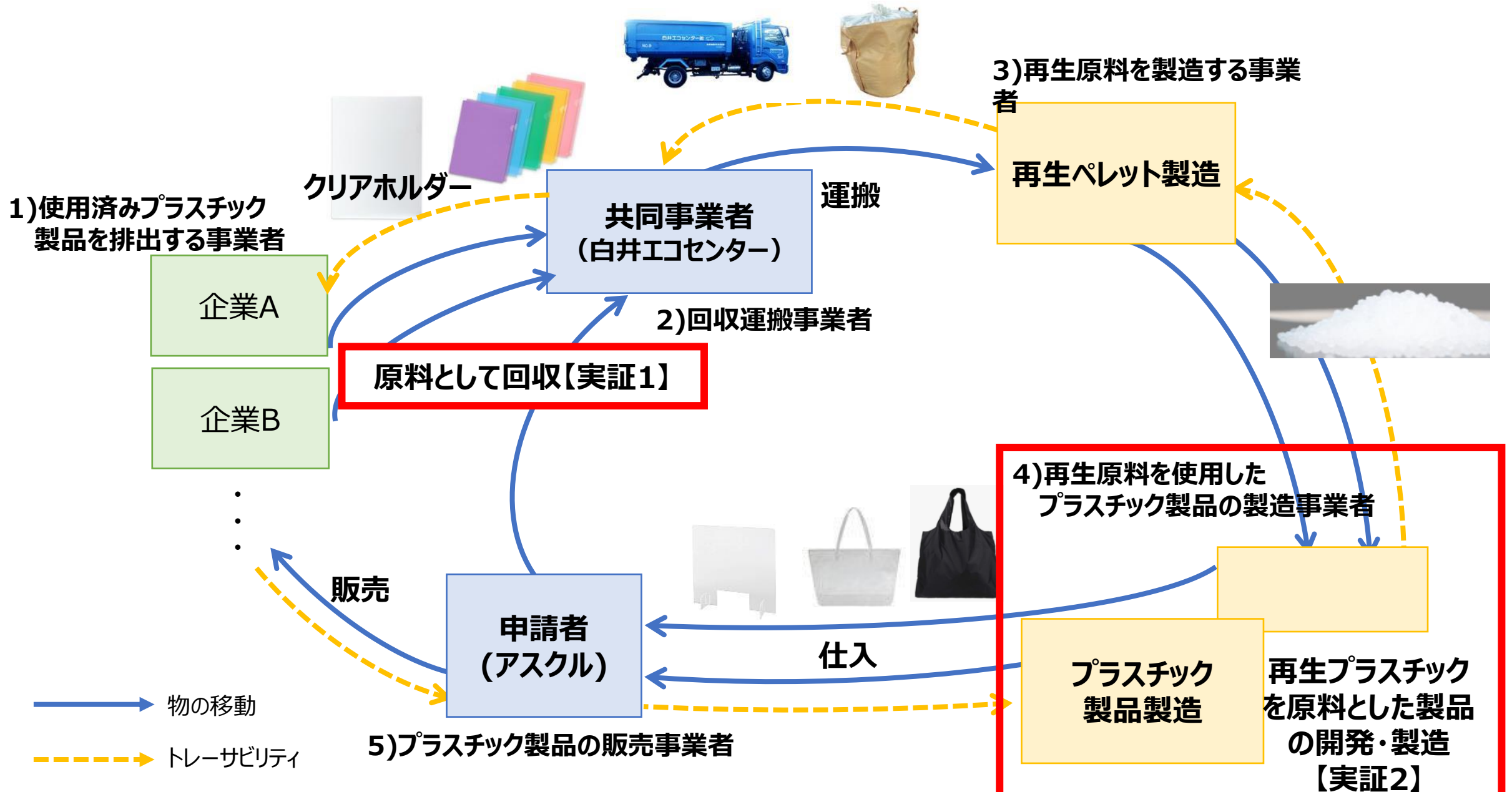
アスクル株式会社

コーポレート本部

コーポレートコミュニケーション

サステナビリティ（環境）

環境省「令和2年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環 システム構築実証事業」



実証 1 : 回収について

■ 回収方法

事業者様側で回収箱（不要な不要な段ボール等）のご用意
 宅配便で白井エコセンターに直接送付（送料のご負担を依頼）

■ 回収量実績

2021年1月～6月末まで
 回収量：80社、1265箱、合計20トン
 リサイクル率：約99%

■ 実績の報告

事業者様ごとに、回収実績および
 製品化の状況の報告メールを送付

■ 回収目標

実証事業内：40トン



いつもお世話になっております。☺
 アスクル(株)サステナビリティチームでございます。☺
 このたびは、環境省「脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」
 における使用済みクリアホルダーの回収にご協力いただきありがとうございます。☺
 2021年5月1か月間に、貴社からお送りいただいた使用済みクリアホルダーの回収実績を
 ご報告いたします。☺
 （ご担当者様のみメールさせていただいておりますので、大変お手数ですが、貴社内で関係
 の皆様にご転送をお願いいたします。）☺

☺

1) 透明なクリアホルダー	: 3.11 Kg☺
2) 色・柄付きのクリアホルダー	: 0.98 Kg☺
3) リサイクルが難しく廃棄対象のもの	: 0.03 Kg☺
合計	: 4.12 Kg リサイクル率: 99.3 %☺

☺

当実証事業は令和2年度～3年度の2か年の事業ですが、令和2年度の成果報告会が下記
 要領で実施されます。弊社も発表させていただきますので、ぜひご覧いただきたいと思っ
 ております。☺

☺

◆事業報告会開催のお知らせ◆
 【環境省】令和2年度 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業
 ・開催日/2021年7月16日(金)及び19日(月) ☺
 ・開催時間/9時30分～17時15分☺
 ・開催方法: 動画の配信☺
 詳細はこちらをご参照ください。☺
<https://www.jora.jp/news/9465/>☺

☺

引き続き、ご協力のほどよろしくお願いたします。☺

☺

アスクル サステナビリティチーム ☺
 東、四夷、立花☺

報告メール

回収方法・回収参加者の多様化を検討

送料の事業者様負担
「産廃処理の費用を充当」



- ・負担OK(主旨に共感して)』
- ・負担OK(宅配便程度なら…)』
- ・部分的な費用算出が難しい…

廃棄物処理法の適用は？
法的にどう判断されるの？



- ・下取り、有価物、試験研究の扱い
- ・再生可能なものを回収、再製品化

ほかの素材、製品も回収、
再製品化は可能？



- ・アクリル製品、文具の回収要望

「本実証事業への理解」と「再資源化・製品化への期待」

実証2：製品化について

■ 検討中の製品

- クリアホルダー（水平リサイクルのご要望が多い）
- 筆記具、ファイル（PP素材）、エコバッグなど日用品



メッシュ（粗）



メッシュ（細）

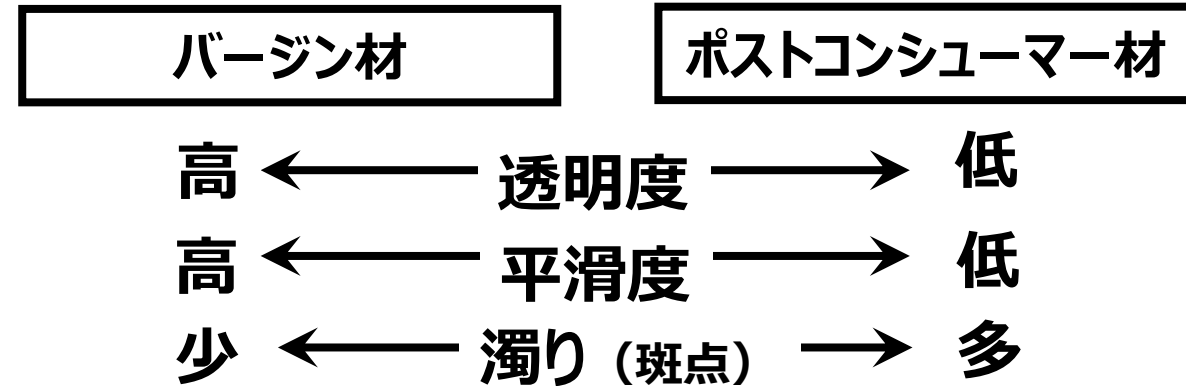
■ 試作品の製作から見た課題

① 再生ペレットの品質

- PP製以外の素材の混入
- 対策：分別の徹底
ペレット製造時のメッシュ

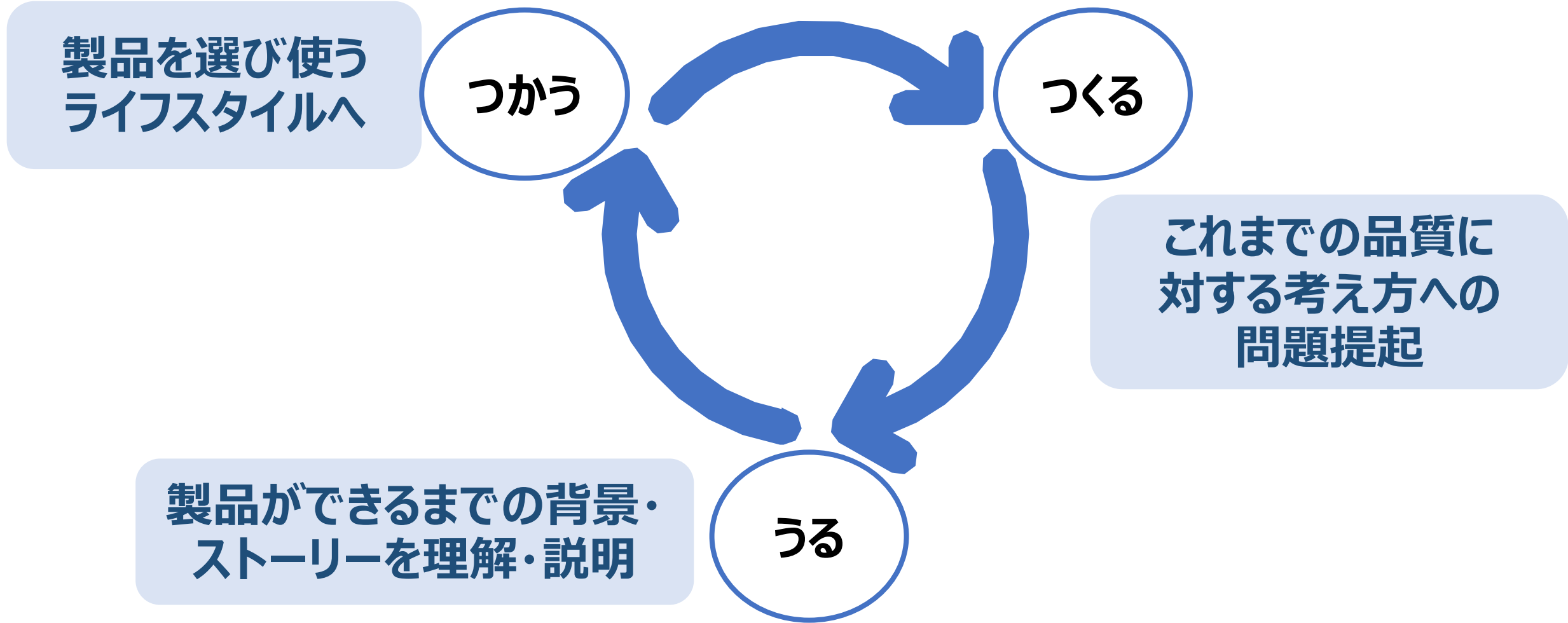
② バージン材との比較

- 製造メーカーのポストコンシューマ材への理解
- 再生ペレットの特徴を生かした製品づくりの提案



ポストコンシューマ材活用の障壁はあるが、再生材としての品質は課題が少ない模様

新たなバリューチェーンに



実証事業後は、事業化を計画しています